

三原市で新規就農者交流会の開催

【平成 28 年 12 月 14 日掲載】

三原市では、農業の新たな担い手を確保するため、新規就農者の育成に力を入れています。市の園芸振興センターでは、2年間の栽培研修及び先進経営体での実習を行い、研修修了後は関係機関が連携して定期的に巡回指導、経営検討会を行っています。

そうした中、11月24日に、新規就農者間のつながりを深めることを目的に、「新規就農者交流会」が開催され、新規就農者6名と関係機関4名が参加しました。

まず、平成25年に就農した稲葉友和（いなばともかず）さん（41歳）のいちごハウス（大和町）で現地研修会が行われ、稲葉さんから栽培管理上の課題や工夫して取り組んでいることなどについて説明があり、他の新規就農者から温度管理方法などについての質問がありました。その後、会場を移して、園芸振興センターで参加者それぞれから経営状況、課題や悩み、積極的に取り組んでいることなどについて意見交換をしました。特に、病害虫防除対策、労務管理や有利販売の取組みについての関心が高く、有意義な会となりました。

三原市の担当者は、「思った以上に活発に意見交換ができて有意義だった。今後もお互いの研鑽のために続けていきたい。」と話していました。



【いちごハウスでの現地研修会】



【意見交換会】

情報提供元

東部農業技術指導所